活動期間:2023年7月~9月

大口町

所属議員

山﨑 卓美

【活動選定項目】 国・県・市町で取り組 むテーマを設定
具体的活動

- ① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)
- ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現
- ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上

4 地域への貢献活動

(例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)

- ⑤ 子育で支援策
- ⑥ 行政の DX 推進施策
- (7) 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)

(調査・研究含む)

選択した項目

テーマ ②

・大口町コミュニティバス運営の改善

【課題意識】(1)昼間の利用者少ないこと、(2)運用コスト増加していること、結果、年間ロスコスト が過大となっている状況が数年継続している。

【やったこと】

総務建設常任委員会の年間テーマとして活動を決定。

10月2日に委員会行政視察として、(株)アイシンを訪問。オンデマンド交诵システムについて 調査。また、すでにシステム導入している幸田町を訪問し、導入時、および導入後の課題のヒア リングを実施した。



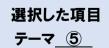
今後の活動

・今回視察の結果を委員会にて研究を進める。(大口町で導入するにあたっての課題の整理、将来の交通ビジョンの策定)

具体的活動 (調査・研究含む)

・働き、生活する拠点として選ばれる大口町について(奨学金返還支援制度)

【課題意識】子育てにおいて、義務教育課程を終えた後の大学、専門学校などの高等教育からが本 当に家庭の負担が大きくなる。学生時代に奨学金制度を利用したとする人は、おおよそ2人に1 人が利用している状況。一方で地域の商産業においても、コロナ禍を経て、人材不足は喫緊の課 題となっている。



【やったこと】

9月定例会にて一般質問を実施。町内企業の人材確保支援策として、奨学金返還支援制度(企業 の代理返還)を実施する企業に対する支援等、新たな支援制度導入について提案した。



今後の活動

・大口町の奨学金返還支援制度は、年間 1 万円を 3 年間補助するにとどまる制度。愛知県内には一宮市、豊川市、豊橋市といった、先行し て企業の代理返還制度導入の自治体がある。引き続き、国の高等教育支援を注視するとともに、調査を継続して行う。